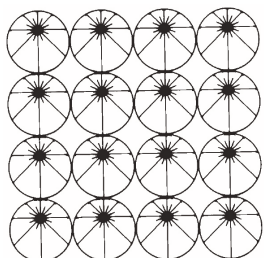


巻頭言



超スマート社会の 新たな事業領域への挑戦に向けて

執行役員, CTO
高木章雄



2016年11月に開催された経団連の未来産業・技術委員会では「人工知能に関する政府の取り組みについて」と「Society 5.0の実現に向けた緊急提言について」の2つの議題が審議されました。そのなかで日本学術振興会 人工知能技術戦略会議の安西議長は明るい未来、成長できる日本、Society 5.0の実現に向けて「未来社会を先導する強力な司令塔の創設（体制）」がこの技術戦略会議であり、人工知能(AI: Artificial Intelligence)の研究開発と Society 5.0の実現について説明されています。アンリツグループは携帯端末の第5世代となる5Gが実現され、AI・ビッグデータ・IoT(Internet of Things)が活用される来たるべき社会に向け、これまでに培ったコア技術を新たな事業領域に展開して参りたいと考えております。

主力の計測器事業では5G 端末・基地局およびチップセットメーカー向けのソリューションを始め、スマートフォン以外の自動車、スマートデバイスなどの超スマートな社会(Society 5.0)に対応したビジネスも視野に入れ、総合的なIoT 基盤の5G ネットワークの発展に寄与して参ります。食の安全・安心に貢献するPQA(Products Quality Assurance)事業では、異物検査装置における更なる検出感度の向上に努め、一層の品質管理に貢献して参ります。また2017年1月には技術本部に知識情報応用開発センターを創設し、価値あるデジタルデータに対しAIを活用する技術開発も進めて参ります。これら事業の根幹を支える技術開発の一部を本テクニカルに掲載し、少しでもアンリツの取り組みをご紹介できればと考えております。

前号(91号)では5G特集号として関連した技術をご紹介いたしました。本号では従前どおり各事業部門の開発部や各開発センターの技術内容となりますが、ご覧いただきたく存じます。将来的には前述の新たな事業領域に関連する技術についても掲載できるよう研究開発を推進して参ります。アンリツはこれまでの事業領域から活躍できる場を広げたいと考えております。しかしながら私共だけでは新たな技術獲得は難しく、オープンイノベーションなどを通じて獲得することも視野に入れております。本テクニカルをご覧いただき、オープンイノベーション的協業などの新たなお客さまとの繋がりへの良いきっかけになれば幸いです。

